

令和6年第3回定例会 総務市民委員会 報告（要点筆記）

議案第64号 四国中央市役所駐車場条例の一部を改正する条例について

質 疑

○委 員

市役所駐車場は、第1駐車場と第2駐車場の2か所ある。2か所とも同じ住所地の表記となっている理由を伺う。

○理事者

土地の地番については、それぞれ異なるが代表地番で表記しているためである。

○委 員

市役所駐車場に名称の表示はあるのか。

○理事者

名称は、入口に設置してある料金精算機の近くに表示してある。

○委 員

市役所駐車場の年間利用車台数及び2時間以内に出庫した台数について伺う。

○理事者

令和5年度は、約19万5,900台が利用しており、そのうち2時間以内に出庫している台数が約16万台である。内訳としては、第1駐車場の利用が約10万台で、そのうち2時間以内に出庫している台数が約7万5,000台である。南側にある第2駐車場については、約9万5,000台の利用があり、そのうち2時間以内に出庫している台数が約8万3,000台である。

○委 員

市役所駐車場の防犯カメラの設置の有無について伺う。

○理事者

防犯カメラは、入口付近に2か所設置している。

○委 員

駐車場の使用時間は、午前0時から午後12時までとするとあるが、なぜこのような使用時間の表記なのか理由を伺う。

○理事者

駐車場は使用時間を定めなければならない決まりがある。法令上では、時間を定める場合、始点と終点を表記しなければならないため、このような表記となっている。

議案第66号 四国中央市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

質 疑

な し

議案第67号 令和6年度四国中央市一般会計補正予算（第3号）〔所管分〕

質 疑

○委 員

国際紙製品展示会出展事業の具体的な内訳について伺う。

○理事者

事業内容は大きく二つに分かれており、まず一つ目として、ブースのデザイン・作成及び撤収に係る業務や展示会へ出展する市内企業への伴走支援、海外からの来場者に向けて外国語に対応できるスタッフの手配、出展企業の紹介及び市のPRを行うためのパンフレットやグッズを製作する業務を委託する費用であり、余裕を持った出展準備、事業者支援を行うため、今年度中に事業者選定を行うものである。

もう一つは、出展スペース料であり、来年度の出展スペースを確保するために必要な手続として事前申込みを行うものである。

○委員

出展予定企業数について伺う。

○理事者

出展予定企業は、20社を予定している。

○委員

国際紙製品展示会出展事業の費用対効果について伺う。

○理事者

令和6年度は、市内16企業が出展を行った。効果としては、会期3日間で本市のブースに延べ8,850人の方が来場していただき、市内企業で生産された紙製品や加工技術、伝統等を紹介することができた。

また、出展企業は来場者との名刺交換枚数を平均で約150枚と目標設定していたが、成果として平均で約200枚の名刺交換ができ、目標枚数を大幅に上回った。名刺交換が商談のきっかけとなり、会期後2週間のうちに、商談件数が出展企業の平均で約7件あったと報告を受けている。

○委員

本事業における副市長の見解を伺う。

○理事者

今年7月に東京ビッグサイトで開催された展示会に参加したが、非常に盛況であった。約1,000企業の出展のうち、半数は海外企業であり、特にアジアの企業は、OEM方式による日本への輸出を期待して、自社製品の品質や技術を売り込むべく出展しているなど、国際展示会の役割としては、大いに実のあるものだと感じた。また、本市の場合、今の為替の状況からすると輸出による多大なメリットが見込めるため、そういう意味でも海外のバイヤーとの交流もできる機会として、非常に価値があったと思っている。

○委員

家具等固定推進事業費補助金について、詳細を伺う。

○理事者

市内の65歳以上のみの世帯で構成される世帯のうち、100世帯を対象に1世帯1万円を限度額として補助するものである。対象物は、L字金具、ガラス飛散防止フィルム等である。

また、高齢者は家具等の固定具の取付けも困難だと思われるので、公益社団法人四国中央市シルバー人材センターに取付け作業を委託したいと考えており、そちらを利用した場合でも補助対象に含むこととしている。

公益社団法人四国中央市シルバー人材センターは1時間当たり1,596円で利用でき、1時間あれば取付けできると想定している。

議案第73号 愛媛地方税滞納整理機構規約の変更について

質 疑

○委 員

森林環境贈与税について、どのような用途があるのか伺う。

○理事者

現在は森林の持ち主等に今後の管理についての意向調査を行っている状況で、自身で管理できない場合などには管理委託等を含め、適正な森林の整備、管理につなげていくことが用途の一例である。

また、こども木育推進事業のほか、今回の補正予算では、森林林業講座を開催し市民に啓発する事業の予算を計上している。

○委 員

本市が行っている二つのこども木育推進事業について、内容を伺う。

○理事者

こども木育推進事業については、ファーストウッド事業では、本市で生まれた新生児を対象に名前入りの木材キューブを4カ月児健診の際に渡し、プラスウッド事業では1歳の誕生日を迎える子供に愛媛県産及び四国中央市産のヒノキを使った積み木を贈呈している。

○委 員

本市のこども木育推進事業の発案者について伺う。

○理事者

国が全国の森林環境譲与税の活用事例の情報を公表しており、その情報を参考に各担当課が考えたものである。

議案第74号 愛媛県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

質 疑

な し

議案第75号 財産の無償譲渡について

質 疑

○委 員

花園集会所について、築年数を伺う。

○理事者

花園集会所は、築約25年である。

○委 員

花園集会所の現在の評価額について伺う。

○理事者

花園集会所の評価額については、無償譲渡のため、把握していない。

本集会所については、建設時に県の補助を受けるに当たり、実施主体が市でなければならぬとされる時期があったため、所有者を市としていたが、建設用地、建設費用についても、地元自治会から提供を受けており、集会所等マネジメント計画においても、実質的な所有者は自治会等であるとしているため、今回地元へお戻しすると考えただ

けたらと思う。

議案第76号 財産の無償譲渡について

質 疑

な し

主要事業 「土居文化会館整備事業」

質 疑

○委 員

大ホールについて、6月の委員会で確認した時は問題ないということであったが、懸念していたことが起こってしまった。うちわを使用することも本当は失礼なことである。相手方への謝罪について伺う。

○理事者

コンサート終了後、森口博子さんのところにお伺いさせていただき、謝罪をさせていただいた。うちわの配布については、スタッフにも確認した上で行った。

○委 員

今後の改修計画について伺う。

○理事者

大ホールの空調の改修に関しては、計画に先駆けて来年度実施できればと考えている。その後の改修計画については、大ホールの改修が終了した後、財政部局とも協議して進めていきたい。

主要事業 「デジタル防災マップ整備事業」

質 疑

○委 員

デジタル防災マップは、市の公式LINEとは違うものなのか。

○理事者

デジタル防災マップは、市の公式LINEとは違うものであり、避難所への道や危険箇所を周知することに特化したものである。

○委 員

デジタル防災マップには、新規で登録する必要があるのか。

○理事者

デジタル防災マップは、公式LINEに登録してあれば必要ない。

○委 員

川之江交流ふれあいセンターは避難所になっているが、水害が起こった場合に不安だと思われる方もいる。避難所の見直しについて伺う。

○理事者

今の防災マップには、災害別に避難できる場所が掲載してある。災害時、金生川が氾濫するまでには時間がかかると思われるため、状況に応じて二次避難をしていただくよう計画している。

金生川流域に住んでいる方の中には、金生川の氾濫を心配されている方も多いと思わ

れるため、今後は浸水区域にある自治会とも協議し、研修会を開催していければと考えている。

○委員

防災訓練では、避難場所が四国中央市立川之江小学校になっている人が、低い所に避難するより、少しでも高い所に避難する方がいいということで四国中央市立金生第二小学校まで来られることもある。これについて市としての見解を伺う。

○理事者

災害時には、津波の高さは3.6メートルになると予想されており、それ以上になる可能性もある。より安全な所へ避難することは当然の判断であると考えられる。市としても一人でも多くの人に正しい判断をしてもらえるよう啓発していきたい。

○委員

四国中央市歴史考古博物館は、避難所に指定されているのか伺う。

○理事者

四国中央市歴史考古博物館は、避難所に指定されてない。ただし、高台にあるため、一時避難場所として利用できると思う。